



(一社)日本公園施設業協会 設立30周年にあたって

特集

## これからも公園施設の安全と品質を 高めてまいります



### 設立30周年にあたって

一般社団法人 日本公園施設業協会  
うちだ やすお  
会 長 内田 裕郎

(一社)日本公園施設業協会(JPFA)は1990年(平成2年)6月の法人化以来、2020年6月に設立30周年を迎えることとなりました。これもひとえに国土交通省、地方自治体、公園緑地関連の学会・協会の皆さま方より、今日までいただきましたご支援・ご指導の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

思い起こしますと、37年ほど前、ドイツ視察で初めて目にした「DIN7926」は感動的でした。JPFAが目指したい安全の規準がそこにあったのです。その後、法人化を機に安全の規準づくりは加速しました。

諸外国の規準を研究する中で、日本に適した規準と規準を補う制度が必要であることに気づきました。例えば「安全領域」や「遊動荷重」は他の国にはない概念です。また「公園施設製品安全管理士、公園施設製品整備技士」、「SP/SPL表示」、「団体賠償責任保険」、「QSMS規格」なども同じく、日本独自のものです。これらは10年近く、数重ねた研究・検討の成果と言えます。

2002年(平成14年)には国の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」が公開され、指針に基づいて日本の風土・文化や生活習慣にあった「遊具の安全に関する規準」を公開することができました。

このような会員が30年にわたり力を合わせて作り上げてきた大き

な土台を大切に、新しい時代に向かって、国や自治体の皆さまが運営する公園の安全で快適な公園施設製品の開発・製造、設置、点検・修繕などを通じ、国民生活や社会に貢献してまいります。今後とも一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

### JPFAの歩み

1980年	日本公園施設協会(任意団体)発足
1983年	ドイツ視察・研修
1986年	日本公園施設賠償責任保険制度 運用開始
1990年	(社)日本公園施設業協会 設立(法人化)
1993年	「公園施設に関わる制度と規準に関する研究と公園施設規準制度等の事業計画」決定
1996年	公園施設製品安全管理士の認定開始
1997年	公園施設製品整備技士の認定開始
2000年	セミナー開催、「21世紀ビジョン」発表
2002年	遊具の安全に関する規準(案)JPFA-S:2002 公表
2003年	安全表示シール 運用開始
2004年	企業認定制度確立 SP/SPLマーク 導入 「仲良く遊ぼう安全に」制作・配布開始
2005年	遊具の日常点検講習会 開催開始
2008年	JPFA-S:2008 改訂 定期点検ソフト 開発
2009年	安全管理士会 設置
2010年	国際シンポジウム 開催
2014年	JPFA-SP-S:2014 改訂
2015年	点検技術者資格制度 創設 公園施設の定期点検に関する規準 策定
2016年	点検技術者資格制度 国の技術者資格制度に登録 一般公園施設製品の安全と品質に関する規準 策定
2017年	ISO/TC 83 (Sports and other recreational facilities and equipment)のワーキンググループに参加
2018年	青年部 設置



## アジア各国の公園施設業関係団体とのアライアンス締結

2019年10月8日に行われた設立30周年記念祝賀会において、シンガポール・香港・台湾・韓国の同じ公園施設業関係団体との間で、友好協定を結びました。

今後はそれぞれの国の公園施設の安全規準を中心に、点検・修繕などのメンテナンスのあり方やインクルーシブデザインと呼ばれる、様々な障害に応じたきめ細かな配慮により、障害のある者が障害のない者と一緒に遊べるようにする遊び場づくりなど、幅広い面でアジアの仲間とも意見や情報の交換などを進めていこうと考えています。



## 昨年度も好評のうちに日常点検講習会を開催

令和元年度は遊具の日常点検講習会の全国版を主要都市7カ所で開催いたしました。例年通り、各会場は早い時期から定員に達し、公園や遊具の管理に関わる方々の日常点検やその先にある定期点検への意識の高さを感じました。

屋内講習会では点検業務を怠ることによる管理責任の重要性などに関心が集まりました。また屋外講習会では、実際の遊具での点検が経験でき、具体的な点検箇所や点検方法が良く分かったため、今後の役に立つという感想を多くいただきました。今年度も皆さまに満足いただけるような遊具の日常点検講習会を行ってまいります。

